資料２

具体的な施策・重要業績評価指標（ＫＰＩ）進捗状況評価票【対象：平成 29 年度】

具体的な施策･重要業績評価指標（KPI）進捗状況評価票
（対象：平成 29 年度）

基本目標	3	若い世代の出産･子育てへの希望の実現
基本的方向	1	若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり
具体的な施策	②	安心して子育てができる環境の整備
主担当課	子育て支援課、保育支援課、健康推進課	
施策概要	・適切な時期に乳幼児の各種健診や訪問を行い、発育と発達の状況把握や疾病の早期発見に努めることにより、医療などと連携したきめ細かい保健指導を行います。また、各種予防接種を実施し、子どもの健康を守ります。 ・待機児童の解消に向け、既存施設の有効活用などのソフト面の手法と施設の整備などによるハード面の手法を併用することにより､保育サービス量の拡充に取り組むとともに、保育の質の向上を目指します。また、地域の様々な人材や団体、施設などの社会資源との連携や協働を図り、地域全体で子ども･子育てを支える環境づくりを進めます。 ・子ども医療費助成など、経済的な支援を行います。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	新生児訪問実施率	%	97.0					
			86.9	86.1	80.7	88.8	―	―
				B	C	B		
②	特定教育・保育施設の数	箇所	54					
			47	50	52	54	―	―
				A	A	A		
③	安心して出産し、子育てできると感じている市民の割合	%	50					
			48.5	50.3	49.6	49.7	―	―
				A	B	B		

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

<table>
<tr><th colspan="2">【平成２９年度の取組内容と評価】</th></tr>
<tr><td>担当課
評　価</td><td rowspan="2">①新生児訪問では発育状況の確認や子育て相談や情報提供を行い、母子の健康増進と子育て不安の解消に寄与した。里帰り先で訪問を希望する家庭には里帰り先の自治体に訪問依頼をし対応した（都外医療機関（助産院含む）妊婦健診者数平成 28 年 449 件、平成 29 年 357 件）。新生児訪問を未利用の家庭には、3～4 か月児健診等で状況確認を行った。3～4 か月児健診 98.1 %、1 歳 6 か月児健診 95.6%、3 歳児健診 94.8%。平成 29 年 4 月から 9 月の間、B 型肝炎ワクチン特例接種を実施し接種の機会を確保した。予防接種ナビちっくんの登録者数は平成 29 年度末 8,056 人と増加し平均予防接種率は 92.9%で健診とともに高水準を維持し子供の健康維持の役割を果たした。
②認可保育所（私立保育園）の整備事業候補者を公募し、選定した事業者候補に対する施設整備に対して開設準備支援を実施し、平成 30 年 4 月 1 日付けで認可保育所を 4 施設（本園 3、分園 1）開設したほか、私立幼稚園 4 園におけて幼稚園型一時預かり事業を開始するなど、多様な保育サービスの充実を図った。
　また、市内保育施設に対して、市職員による巡回支援や保育従事者を対象とした研修などを実施し、保育の質の向上を図った。
③子育て中の親の孤立化の防止や子育て不安の解消を図るため、市内11 ヶ所で子育てひろば事業を実施したほか、市保育士やボランティアによる子育てひろばや市民団体の子育てひろば活動への補助を行った。義務教育終了前までの児童を対象に医療費の助成や児童手当の支給を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><th colspan="2">【平成３０年度における取組など】</th></tr>
<tr><td colspan="2">①平成 30 年４月から子育て世代包括支援センターに伴い、妊娠届出時に看護職による全件面接を実施する。新生児訪問等サービスの案内を行い各種サービスの実施率の向上に努める。また、必要に応じて保健師の継続相談等につなぎ早期から支援できる体制を継続する。健康診査では子どもの健康増進と共に子育て支援の機会になるよう実施する。予防接種は安全に実施されるよう予防接種ナビは継続実施し、市民及び協力医療機関への情報提供等に努めていく。
②引き続き、認可保育所等の保育施設の整備を行うほか、私立幼稚園などの協力を得ながら一時保育・定期利用保育などの保育サービスの充実を図るとともに、保育コンシェルジュによる相談窓口業務を通じて、各子育て世帯に応じた保育サービスの提案を行う。
③地域で子育てひろばを展開するとともに、市立保育所の地域子育て支援拠点の整備を進める。また、手当・医療費助成ともに継続して法令等に基づき実施をすることにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。</td></tr>
</table>

※評価　A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
　　B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
　　C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3　進捗状況評価（協議会）

<table>
<tr><th colspan="2">【担当課評価などに対する意見】</th></tr>
<tr><td>協議会
評　価</td><td rowspan="2">　新生児訪問実施率は 88.8%で、目標値を下回ってはいるが里帰り先の自治体に訪問依頼を実施したり、未利用の家庭はその後の検診で状況確認を行っているなど、適切なフォローがなされており実質的には目標値に近い水準の保健指導が行われていると判断できる。また、予防接種の接種率の向上につとめていることも高く評価できる。
　認可保育所の新たな開設など、待機児童の解消に向けた取組みも着実に行われている。待機児童問題には継続した取り組みが必要であるため、今後も多様な保育サービスの提供が期待される。子育て家庭への相談事業のほか経済的支援など多角的な支援も高く評価でき、継続した取組みの実施によって近いうちに目標の達成が期待できると考える。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
</table>

※評価　A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況評価票
（対象：平成 29 年度）

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	2	地域コミュニティの活性化
具体的な施策	①	地域交流・活動の促進
主担当課	地域コミュニティ課、協働推進課、指導室	
施策概要	・高齢者の社会的な孤立を防ぐとともに、子どもや学生が地域づくりに関わる機会を持てるよう、幅広い世代の交流を促進し、地域社会を支える共同体の機能を深めます。 ・相互友好協定を結んでいる東京外国語大学及び、東京農工大学及び明治大学をはじめ、市内の企業や市民活動団体等と連携することで、地域課題を市と市民が協働して解決する体制の整備を目指します。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	各文化センター圏域でのコミュニティ事業参加者数	人	231,000					
			222,427	228,575	238,754	236,873	―	―
				A	A	A		
②	市と大学や企業等が協働実施している事業数	事業	現状値以上					
			59	56	41	43	―	―
				B	C	B		

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

<table>
<tr><th colspan="2">【平成２９年度の取組内容と評価】</th></tr>
<tr><td>担当課
評　価</td><td rowspan="2">① 地域の特色を活かした各種行事を地域の人々が参加しやすい工夫を凝らしながら市民との協働で提供し実施することができた。圏域ごとの課題への対応については、他センターの成功事例を参考にし、改善を試みている。
② 市内の大学や過去からの協働実施している大学との連携については、定着をしており良き協働のパートナーとして機能している。
※コミュニティ・スクール事業では、学校と地域とが連携して、各校で地域防災の推進や学習支援の実施、ゲストティーチャーの紹介、サマースクールの開催などの活動が主体的に実施されている。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><th colspan="2">【平成３０年度における取組など】</th></tr>
<tr><td colspan="2">① 地域の特色を活かした事業の展開にし、圏域住民のニーズを勘案した事業の実施に取り組んでいく。
② 大学に比べ、企業との連携については難しい状況があるが、事業内容の更なる充実のため、新規開拓を含め引き続き実施していきたい。
※コミュニティ・スクール事業については、引き続き、地域の教育力を生かして推進していきたい。
また、各校の取組の情報共有を図っていく。</td></tr>
</table>

※評価　A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
　　B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
　　C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3　進捗状況評価（協議会）

<table>
<tr><th colspan="2">【担当課評価などに対する意見】</th></tr>
<tr><td>協議会
評　価</td><td rowspan="2">①については、事業参加者数が経年的推移でみて安定している点、地域の特色を活かした各種行事を開催した点は高く評価できる。しかし、事業参加者数が前年比において若干の減少（▲1881）となっていることから、事業参加者数の減少要因についての解明に努めて欲しい。また、前回の協議会評価で要望した、文化センター圏域ごとの課題抽出とその対応策の実行については、本年度において迅速な対応を期待する。
②については、現状値から逓減していた協働事業数が増加に転じた点は評価できる。連携先をみると、「大学」は実績数及び連携内容の多様性からみて高く評価できる。一方、企業との連携は相対的に少ない傾向にあり、新規事業の積極的な創出による連携増加に努めて欲しい。また、多様な主体（企業、各種団体、大学）との横断的連携を積極的に図り各主体の強みを活かすことで、新規性・独自性のある事業創出を期待する。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
</table>

※評価　A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況評価票
（対象：平成 29 年度）

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	1	みんなが安心して暮らせる地域づくり
具体的な施策	②	公共施設・インフラの計画的な管理及び運営
主担当課	建築施設課、管理課、公園緑地課	
施策概要	・公共施設マネジメントの取組として、公共施設の最適化と計画的保全に努め、市民が将来にわたり良好な環境で施設を利用できるよう努めます。 ・老朽化が進むインフラ（道路・公園等）を長期にわたり安全に管理していくため、インフラマネジメント計画に基づき、推進します。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	公共施設の市民1人当たりの延床面積	㎡/人	現状維持					
			2.52	2.49	2.48	2.60	―	―
				A	A	A		
②	公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	%	74.0					
			70.3	~~76.2~~ 70.0	~~76.7~~ 70.6	71.1	―	―
				A	A	A		

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

<table>
<tr><th colspan="2">【平成２９年度の取組内容と評価】</th></tr>
<tr><td>担当課
評　価</td><td rowspan="2">①公共施設マネジメントの取組を進めていく上での実行計画に位置付けている第１次府中市公共施設マネジメント推進プランの計画期間が、平成２９年度をもって満了することに伴い、平成３０年度以降も着実に取組を進めていくため、広く市民を対象とした意見交換会やパブリックコメント手続を経て、第２次府中市公共施設マネジメント推進プランを策定した。
なお、ＫＰＩが２．６㎡／人と、前年度と比較して大きく増加しているが、当該指標の算出には、平成２９年度末時点における公共施設の総延床面積を用いており、処分等が決定しているグリーンプラザや旧学校給食センターなども含んでいる。これらの処分等が決定している施設を総延床面積から除くと２．４８㎡／人となることから、順調に進捗している評価とした。
②計画改定のための協議会を立ち上げ、インフラの数量や管理経費等を更新し、府中市インフラマネジメント白書（２０１７年度）を作成するとともに、府中市インフラマネジメント計画の改定案を作成した。また、インフラマネジメントを推進する取組として、道路等包括管理事業（北西地区）の受注候補者の選定、街路灯・公園灯をＬＥＤ化するＥＳＣＯ事業、府中市橋梁長寿命化修繕計画の策定や長寿命化計画策定のための公園施設５１か所の調査などを行った。その他、関連計画である府中市緑の基本計画２００９の改定のため、協議会を立ち上げ協議を行った。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
<tr><th colspan="2">【平成３０年度における取組など】</th></tr>
<tr><td colspan="2">①第２次府中市公共施設マネジメント推進プランに定めるモデル事業３「宿泊機能・サービスの今後の在り方」について、有識者や公募市民等で構成する検討協議会を設置し、検討を進める。また、モデル事業４「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」について、平成３１年度からの試行的な実施に向けた検討を進める。
②パブリックコメント手続を経て、府中市インフラマネジメント計画（２０１８年度）を策定するとともに、インフラマネジメントを推進する取組として、道路等包括管理事業（北西地区）の試行及び検証、長寿命化計画策定のためのペデストリアンデッキや公園施設５０か所の調査及び点検など取組の進行管理を行う。また、シンポジウムを開催し、インフラマネジメントの周知を図る。その他、引き続き府中市緑の基本計画２００９の改定のため協議会を開催し、協議を行う。</td></tr>
</table>

※評価　A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
　　B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
　　C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3　進捗状況評価（協議会）

<table>
<tr><th colspan="2">【担当課評価などに対する意見】</th></tr>
<tr><td>協議会
評　価</td><td rowspan="2">①目標に向けて、着実に進んでいるといえる。しかし、この記載では、KPI の数値が低いほうが評価が高くなるように見えてしまう懸念がある。現状を維持することが市民にとって望ましいということを示す文章を理由を含めて、追記してもよいのではないか。
②これらの取り組みが市民満足度の向上にどのように紐づいていくのかは結果を見ないとわからないが、幅広く取り組んでいることは示されており、その点は評価でき、着実に進んでいるといえる。</td></tr>
<tr><td>A</td></tr>
</table>

※評価　A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策･重要業績評価指標（ＫＰＩ）進捗状況評価票
（対象：平成 29 年度）

基本目標	1	市内産業の振興と起業･創業の推進による雇用の確保
基本的方向	2	起業･創業の推進による産業構造の多様化
具体的な施策	①	起業･創業の支援
主担当課	経済観光課、協働推進課	
施策概要	・起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助 制度の情報などについて、相談体制を確保するとともに、セミナーなどにより、起業・創業希望者を支援します。 ・東京農工大学をはじめとする教育機関や市内団体等と連携し、コミュニティビジネスの立ち上げや、インキュベーションオフィスの活用も含め、商・工・農における起業や創業に関する多様な支援を行います。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	起業・創業に関するセミナー参加人数	人	90					
			44	115	80	62	―	―
				A	B	B		
②	コミュニティビジネスに関するガイダンス・個別相談の参加人数	人	24					
			6	24	10	28	―	―
				A	B	A		

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

【平成２９年度の取組内容と評価】	
担当課 評　価	①創業に関する基礎知識や事例、各種補助金制度の情報などについて、創業支援事業計画に基づく創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保することができた。また、創業に関するセミナー及び実践創業塾・体験型創業塾については６回、延べ 62 人の参加があり、創業希望者の継続的な支援を行うことができた。 また、平成２９年度から創業支援プロジェクト機関を拡大し、日本政策金融公庫を新たに迎え、幅広い支援ができるよう連携して事業を行った。 ②平成 29 年度は、前年度に引き続きガイダンス及び個別相談を実施し、13 回延べ 28 人の参加があった。また、市民活動センターを開館し指定管理者業務とし、普段の窓口業務でも軽微な相談を受ける体制をとり、ガイダンスまたは個別相談の参加促進を図った。
A	

【平成３０年度における取組など】
①創業に関する基礎知識や事例、各種補助・制度の情報などについて、創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保していく。また、創業支援プロジェクト機関における創業に関するセミナー及び創業塾の開催を継続し、創業希望者の支援や創業希望者どうしの交流の場をつくっていく。 ②平成 30 年度より、ガイダンス（入門講座）については指定管理者等が行うことで、普段の窓口業務との連続性を持たせ、ガイダンス（入門講座）または個別相談の更なる参加促進を図る。

※評価　A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
　　B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
　　C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3　進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評　価	①ＫＰＩ目標より実績は 3 年連続で減少状況であるが、現在の経済や雇用情勢等を考えると苦慮されている状況が伺える。また平成 29 年度取組内容と評価で 1.相談体制を確保、2．創業支援プロジェクト機関を拡大とのことだが、平成 30 年度の実績に期待します。 ②目標値を上回る実績になっているため、その取組の成果が出ていることは評価できる。
B	

※評価　A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況評価票
（対象：平成 29 年度）

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	①	市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進
主担当課	経済観光課、広報課	
施策概要	・市民や市内の商業者、企業、学校等と連携を図り、市の魅力を発信して、来訪者の増加を図ります。また、市民に対しては、市の魅力を再認識してもらい、住み続けたいと思う市民を増やします。 ・府中市の魅力の再発見を行政だけでなく、市民、各種団体等と協働で取り組み、「武蔵国 府中大使」や様々な機会・媒体を通じて発信し、にぎわいの増進を図ります。	

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	京王線府中駅における１日の乗降人員	人	現状値以上					
			85,279	86,949	88,100	90,224	―	―
				A	A	A		
②	市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合	%	15.0 以下					
			17.7	17.3	17.4	17.0	―	―
				B	B	B		

※進捗　　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

【平成２９年度の取組内容と評価】	
担当課 評　価 B	①漫画「ちはやふる」タイアップスマートフォンアプリを開発、デジタルスタンプラリーを実施してファンの誘客を図った。観光情報センター周辺の案内表示を多言語化したほか、英語版観光マップを元に中国語（繁体字・簡体字）と韓国語版を制作し、東京都観光情報センター等の観光拠点やホテル等に配布し、外国人観光客への対応を強化した。 ②広報紙を行政情報アプリ「マチイロ」で掲載開始したほか、拠点配布として、ファミリーマート、セブンイレブン、サークルK・サンクス、東京外国語大学、東京農工大学等で配布した。ふちゅこまツイッターを開始した。市勢要覧を刊行した。駅前案内板では、府中競馬正門前・是政・競艇場前・北府中駅（各１基)、西府駅（２基）の多言語化を実施した。
【平成３０年度における取組など】	
①「ちはやふる」を活用した市内回遊促進事業を実施する。京王電鉄実施の「ちはやふる」事業と同時開催し、相互に告知等で協力、市外からの誘客強化を狙う。成田空港に動画を掲出し、来日観光客に府中をＰＲするとともに、ＳＮＳで情報発信を行い、外国人観光客が府中を知り、興味を持つきっかけを作る。京王線沿線市とは、連携して魅力発掘のためのワークショップやフィールドワークを開催、南武線沿線市とは、ＳＮＳを活用したフォトコンテストを実施し、効果的な情報発信を行う。 ②広報紙・テープ広報の年 36 回発行、ホームページの適正な管理・運用、メール配信サービス及びツイッターの管理・運用、テレビ広報を年 36 本製作・放映、市マスコットキャラクターの管理・運用を行う。より多くの市民に広報紙を読んでもらうため、特集ページの作成を検討する。	

※評価　A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
　　B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
　　C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3　進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評　価 B	・①の実績は増加しているともいえるが、自然増の範囲とも考えられる。できるだけ自然増の影響を避け、来訪者の増減の評価により近づけるため、曜日別・時間帯別などの分析を試み、今後の取り組みに活用してほしい。 　また近傍他市の駅、例えば調布駅などとの乗降客数増減との比較も施策の評価に有効と考える。 ・②の「市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合」は２７年度、２８年度に続き、２９年度も停滞傾向が続いている。目標には未達であるが、市の施策が効果をあげつつあり目標達成に向け概ね順調に進んでいると考えられる。

※評価　A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標（KPI）進捗状況評価票
（対象：平成 29 年度）

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成		
基本的方向	2	郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成		
具体的な施策	①	歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実		
主担当課	文化生涯学習課、スポーツ振興課		関連課	ふるさと文化財課、美術館
施策概要	・府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛を持てるまちを目指します。 ・スポーツタウン府中の発展に向け、各種競技団体、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームなどとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。			

1　重要業績評価指標（KPI）

指標名		単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
			目標					
			実績	実績	実績	実績	実績	実績
			進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
①	郷土の森博物館及び美術館の入場者数	人	533,000					
			489,602	498,579	569,685	530,738	―	―
				A	A	A		
②	大学やトップチームと連携する事業数	事業	3					
			2	2	3	4	―	―
				A	A	A		

※進捗　A：目標達成に向け、順調に進捗している。
B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2　進捗状況評価（担当課）

【平成２９年度の取組内容と評価】	
担当課 評　価	①郷土の森博物館では、プラネタリウムのリニューアル工事（10月～翌年4月末）に伴い、投映を一時休止及び休館したことにより入場者数の目標値には達しなかったが、計画的な植栽管理による梅まつりの実施や魅力ある特別展の開催し一定の成果（H29年度入館者数283,766人）を得たため評価をＡとした。美術館では、企画展・公開制作・鑑賞教室等を実施するとともに、市内で活動する個人・団体の展示による市民ギャラリーの利用（H29 年度の総入場者数246,972人）など一定の成果を得た。　②総合体育館では、市特有の事業として、トップチームよるフットサル教室及びチアダンス教室等を実施した。参加者からこれを機会に競技を始めたいとの多数の声が挙がり好評を得た。 ※市指定の無形民俗文化財である府中囃子は、年間を通じ演奏技術の伝承を継続して支援するとともに、演奏を収録したCDの作成し市内外に広く周知を行った。武蔵国府太鼓は市民を対象とした講習会を継続して実施した。市史編さん事業では、東京外国語大学と連携し、近世古文書の調査並びに近代行政文書の件名目録作成による整理を実施した。また東京農工大学と連携し、自然調査（植生、土壌、大気等）の実施により大きな成果を得た。
A	

【平成３０年度における取組など】
①郷土の森博物館では、特別展・企画展の実施や、常設展、梅まつり等を継続して実施することで、郷土愛の醸成につながる取組とするほか、リニューアルしたプラネタリウムを活かした事業を実施し、来場者数の増加を図る。美術館では、企画展、常設展・所蔵品展を開催し、市民の美術文化に対する意識を高めるとともに、天井等を改修し安全性を向上する。 ②平成29年度においても目標事業数の「3」を達成できた。今後は事業を継続するとともに、参加者満足度の向上のため教室内容を工夫することにより、更なる充実を目指していく。 ※府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者の育成を継続して取り組む。武蔵国府太鼓の演奏を収録したＤＶＤを作成し市内外へ広く周知を図る。市史編さん事業の中で、引き続き市内の大学（東京外国語大学・東京農工大学）と連携して調査を進める。

※評価　Ａ：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
　　Ｂ：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
　　Ｃ：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3　進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評　価	①昨年度よりも減少し、目標値に達しなかったものの、郷土の森博物館がリニューアル工事の中、様々な展示や行事を行ったことで一定の成果が見られたことは評価できる。また、ほかに減少した要因ないか解明に努めてほしい。今後は、リニューアルしたプラネタリウムをアピールしていくことや、展示や行事の継続を行うことで、入場者の増加が期待できる。 ②目標値を達成し、昨年度と比較しても事業が増加している点で評価できる。今後も、府中市ならではの歴史や文化の継承や、市民がスポーツに親しむことができるような取り組みの継続を行い、新たな取り組みにも期待したい。そして、継続していく上での課題がないか検討してほしい。また、参加者満足度向上のため教室内容を工夫するとあるが、その際には、参加者のニーズの把握に努めてほしい。
A	

※評価　Ａ：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
　　Ｂ：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
　　Ｃ：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。